

# 10minstay



～駅前が日々の生活の一部に～

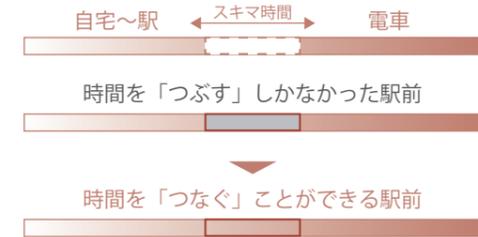
新地駅前が、より使いやすく、より滞在したくなる場所にアップデートされていく。  
駅前ですごくちょっとした時間が日常生活となるような意識の変化は、やがて緩やかなコミュニティを形成し、  
地域住民が主体的に環境を整えていく習慣を育む。

## 魅力的な新地駅の現状

## background

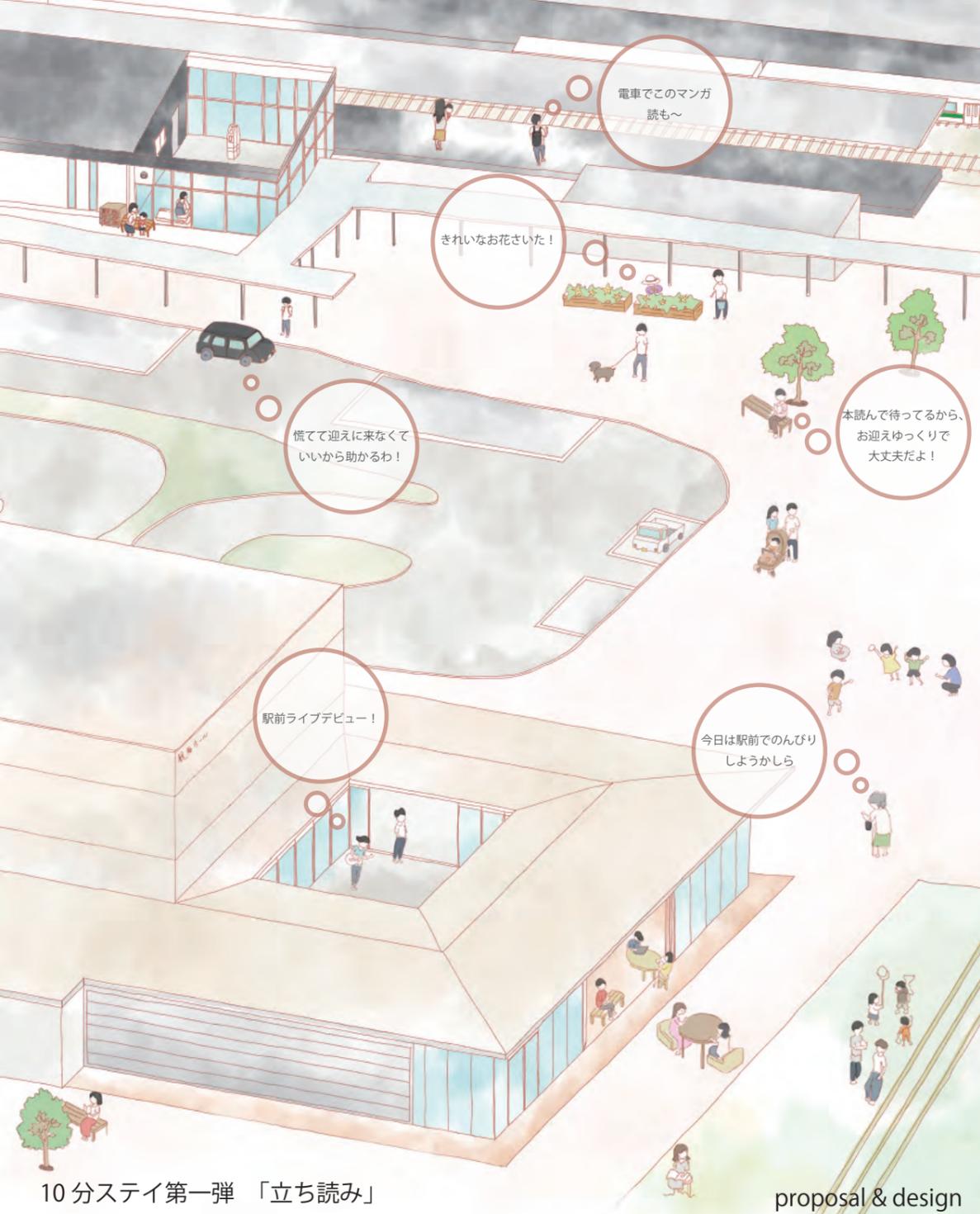
## 時間をつなぐ10分ステイ

## concept



震災後、新地駅前が整備されたが、町民の多くは自動車を交通手段として選択しているため、滞在人口は非常に少ない現状にある。  
個室空間を提供する自動車は、人々の偶然の出会いを遮断し、繋がりを固定化する要因にもなっている。  
一方で、町内人口を考慮すると1時間に1本くる電車は比較的利便性が高く、充実した駅前と合わせて人々をひきつけるポテンシャルを持つ。

駅の利用者を中心に10分ほど滞在できるコンテンツを導入する「10分ステイ」を提案する。  
本を読む、コーヒーを飲む、焼き鳥を食べるなどの10分のできるアクティビティにより駅前豊かな時間が過ごせる。  
駅前の充実した施設は、個人的な利用においてオーバースケールであり、現状持て余している。空間を分節し、様々な設えを施すことで駅前が少しずつ使いこなされる。



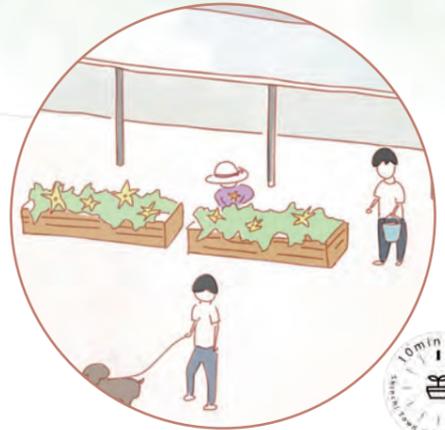
## 10分ステイ第一弾 「立ち読み」

## proposal & design

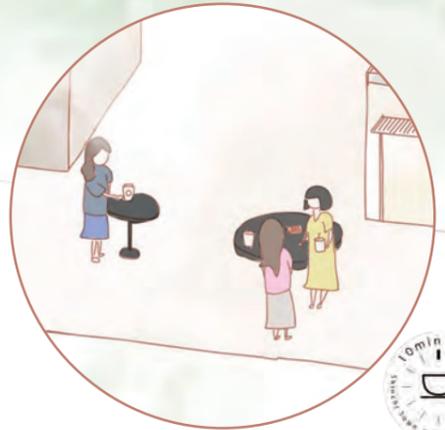
## 10分ステイメニュー



- ターゲット  
駅利用者、送り迎えする人、地域住民
- ① マンガや雑誌 20冊を含め、60冊ほど備えた本棚
- ② 朝は駅舎、以降は観海ホールに置き、行動様式に合わせたフレキシブルな運用を行う
- ③ 感想用紙やしおりを備え、利用者同士の間接的なコミュニケーションを促す
- 実施方法  
ブロックを組み合わせたキャスター付きの本棚  
関係者が時間帯にあわせて本棚を移動させる  
協賛企業から調達した本、各所で不要となった本を置く



駅前に草花の彩りが持ち込まれ、お手入れされる。  
皆で共同管理する花壇や自主的に持ち寄った植木鉢で、  
季節の移ろいを感じることができる。



観海プラザの飲食店からコーヒーや焼き鳥などを  
テイクアウトして隙間時間を味わう。  
将来的に、テイクアウトメニューが増えたり、休日には  
フードトラックが訪れたりするなど選択肢が多様になる。



隙間時間に軽い運動ができるようになる。  
一緒にエクササイズをするコミュニティが生まれる。  
また、新しい健康グッズなどが試せる場となることで、  
電車を利用しない人も駅を訪れるようになる。